

第3室

タブローと静物

前期:9月18日-12月1日 後期:12月2日-1月12日  
 ※出品目録と展示作品の順番は異なる場合があります。  
 ※展示期間に記載のない場合は通期展示します。  
 ※展示作品の内容が変更となる場合があります。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	小林千古	1870-1911	やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
2	アレクサンダー・カーノルト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1面		
3	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
4	南薫造	1883-1950	寒牡丹	不詳	49.4×41.6	油彩・画布	1面		
5	小林徳三郎	1884-1949	瓢箪	1931(昭和6)	45.2×52.2	油彩・画布	1面		
6	マン・レイ	1890-1976	M. デュシャンの作品「美しい吐息」	1920	37.8×27.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
7	マン・レイ	1890-1976	M. デュシャンのレディメイド「壺乾燥器」	不明	27.0×37.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
8	マン・レイ	1890-1976	贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
9	川口軌外	1892-1966	静物	1937(昭和12)	41.9×53.0	油彩・画布	1面		
10	永田一脩	1903-1988	静物	1925(大正14)	45.5×53.0	油彩・画布・コラーージュ	1面		
11	新海覚雄	1904-1968	抽象	1924(大正13)	37.0×65.0	油彩・画布	1面	第21回太平洋画会展	
12	鬚光	1907-1946	静物(柿)	1943(昭和18)	31.8×41.0	油彩・画布	1面		
13	鬚光	1907-1946	魚(ひもの)	1943(昭和18)	38.0×45.3	油彩・画布	1面		
14	細田政義	1908-1999	No.13	1962(昭和37)	36.2×18.0	銅版・紙	1面		前期
15	細田政義	1908-1999	Table No.57	1966(昭和41)	36.5×28.3	銅版・紙	1面		後期
16	岡部繁夫	1912-1969	卓上静物	1937(昭和12)	73.0×91.0	油彩・画布	1面		
17	寺田政明	1912-1989	月光によりて	1943(昭和18)	31.8×40.9	油彩・画布	1面	新人画会第2回展	
18	寺田政明	1912-1989	けいとう花	1954(昭和29)	80.4×52.8	油彩・画布	1面	第18回自由美術	
19	武永楨雄	1913-1997	鮭図	1935(昭和10)	72.7×90.9	油彩・画布	1面		
20	高橋秀	1930-	机上静物	1956(昭和31)	90.9×72.7	油彩・画布	1面		

静物とテーブル

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
21	南薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
22	南薫造	1883-1950	ピアノ	1921(大正10)	103.0×83.1	油彩・画布	1面	平和記念東京博覧会	
23	マン・レイ	1890-1976	隣(りあう)金風製の水準のある襦の後ろのマルセル・デュシャン	1917	22.5×30.4	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
24	マン・レイ	1890-1976	埃の培養	1920	21.1×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
25	マン・レイ	1890-1976	解剖台の上でミンとこうもり傘が偶然出会ったように美しい	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
26	ジョージ・グロッシ	1893-1959	群盗	1922	70.0×51.0	リトグラフ・紙	9面のうち4面		
27	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェツソ・板	1面		
28	名井萬亀	1896-1976	一家団欒	1962(昭和37)	64.7×91.0	油彩・画布	1面		
29	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いたち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
30	大木茂	1899-1979	絵を描く女	1964(昭和39)	145.5×112.1	油彩・画布	1面	第7回新日展	
31	サルバドール・ダリ	1904-1989	マルドロールの歌	1934	32.5×25.0他	エッチング・紙	3面		
32	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面		

## 第4室

### 【特別展示】柿右衛門様式の優品

No.	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数
1	重要文化財伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 (17世紀後半)	口径24.4 高11.5	磁器 色絵	1口
2	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 (17世紀後半)	高さ45.0	磁器 色絵	1軀
3	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 (17世紀後半)	高さ44.3	磁器 色絵	1軀

### 1 織り&染め(日本vs.アジア) ~日本とアジアの緋織りと模様染めを比べて見る

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
4	ウズベク人		女性用外衣(ハラト)	19世紀後半	125.0×168.0	経:絹、緯:綿、経緋	1領	前期
5	ウズベク人		男性用外衣(チャパン)	19世紀後半	132.4×174.1	経:絹、緯:綿、経緋	1領	前期
6	ウズベク人		女性用外衣(ハラト)	19世紀末	125.8×165.8	経:絹、緯:綿、経緋	1領	後期
7	ウズベク人		男性用外衣(ハラト)	1900頃	143.5×212.0	経:絹、緯:綿、経緋	1領	後期
8	志村ふくみ	1924-	紬織着物 枝垂桃	1985(昭和60)	桁67.0 丈158.0	絹 紬	1領	前期
9	志村ふくみ	1924-	紬織着物 水かげ	1984(昭和59)	桁66.4 丈169.6	絹 紬	1領	前期
10	宗廣力三	1914-1989	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1987(昭和63)	桁65.5 丈173.0	絹 紬	1領	後期
11	渡辺博子	1938-	紬織着物「月影」	1999(平成11)	桁68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1領	第46回日本伝統工芸展 後期
12	インド西部		茜地狩猟文更紗	17-18世紀	429.3×90.8	木綿、木版媒染	1枚	前期
13	インド東海岸		白地花鳥文更紗	18-19世紀	83.5×111.5	木綿、手描媒染防染	1枚	前期
14	インド南部		藍地唐花文更紗	19-20世紀	255.8×103.1	木綿、木版手描媒染防染	1枚	前期
15	インド		霜降地蔓花草文更紗	17-18世紀	346.0×94.0	木綿、手描媒染	1枚	後期
16	インド西部		茜地鶯鳥文更紗	18世紀	552.0×92.6	木綿、木版媒染防染	1枚	後期
17	インド南部		藍地唐花文更紗	19-20世紀	234.1×107.3	木綿、木版手描媒染防染	1枚	後期
18	森口邦彦	1941-	友禅訪問着「光波」	1989(平成元)	桁64.2 丈173.0	絹 友禅染	1領	後期
19	森口邦彦	1941-	友禅着物「溪流」	1973(昭和48)	桁64.3 丈157.5	絹 友禅染	1領	第20回日本伝統工芸展 前期
20	森口邦彦	1941-	友禅着物「新雪」	1986(昭和61)	桁61.3 丈172.0	絹 友禅染	1領	後期
21	森口邦彦	1941-	友禅着物「薔園」	1981(昭和56)	桁61.8 丈170.5	絹 友禅染	1領	前期
22	芹沢銈介	1895-1984	李朝の函文帯地	1965(昭和40)	幅38.0	絹 縮緬 型染	1本	後期

### 2 余白vs.稠密 ~余白を生かす日本の文様構成と空間を埋め尽くすイスラムの文様構成を比べて見る

23	松田権六	1896-1989	鷲蒔絵棚	1938(昭和13)	高69.5 39.3×90.5	木 漆 蒔絵 螺鈿 平文 鎌倉彫	1基	第2回新文展
24	ホラーサーン地方		青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5 径70.5	青銅 鑄造	1点	

### 3 器vs.オブジェ ~焼き物の形として必然的な“器の形”に込められた作者の制作意図を比べて見る

25	富本憲吉	1886-1963	白磁壺	1928(昭和3)	高23.3 径29.0	磁器	1口	
26	加守田章二	1933-1983	曲線彫文扁壺	1970(昭和45)	高27.1 12.0×23.0	陶器	1口	
27	河井寛次郎	1890-1966	鉄釉菱花扁壺	不詳	高22.9	陶器	1口	

### 4 空ろvs.無垢 ~焼き物の内側について空洞性を生かす造形と充填する造形を比べて見る

28	八木一夫	1918-1979	黒象嵌花生	1959(昭和34)	高20.0 径13.0	陶器	1口	
29	鯉江良二	1938-	土の顔	1986(昭和61)	高14.0 28.0×31.0	陶器	1対	

### 5 閑話-内側の美 ~4の内側への視点から派生して、箱などの内側に施された装飾の趣向に着目

30	藤本能道	1919-1992	草白釉描加彩 月下木乃葉ずく陶管	1991(平成3)	高13.3 32.4×32.4	磁器、色絵	1合	
31	植松抱民	1845-1899	桜に燕研出蒔絵 硯箱	明治時代	高4.3 4.0×21.0	木 漆 蒔絵	1合	前期

32	梶山明細	不詳	蒔絵やつで香筥	明治時代	高11.1	12.2×15.9	漆 蒔絵	1合	後期
<b>6 焼く前vs.焼いた後 ~焼き物について、焼成の影響を嫌う考え方と焼成で得られる効果を比べて見る</b>									
33	八木一夫	1918-1979	盲亀	1964(昭和39)	高34.0	13.0×31.0	黒陶	1点	
34	佐藤 敏	1936-	バットマン	1971(昭和46)	H42.0×29.0×34.0		陶器	1点	
<b>7 黒vs.白 ~黒と白という基本的で対照的な色彩が持つ造形効果とそれを生かした作品を比べて見る</b>									
35	八木一夫	1918-1979	ブラックエコー	1978(昭和53)	高52.0 高40.0	13.5×23.0 13.5×15.0	黒陶、鉛板	1対	
36	塚本快示	1912-1990	白瓷輪花唐草文大鉢	1980(昭和55)	昭和55年		磁器	1口	
<b>8 完璧vs.破調 ~破綻のない完成された美しさと、否定美・不完全美による破調の美を比べて見る</b>									
37	板谷波山	1872-1963	青磁鳳耳花瓶		高28.3	胴径13.1	青磁	1口	
38	鯉江良二	1938-	(VESSEL)	2006(平成16)	高24.1	24.5×21.2	陶器	1口	
<b>9 金銀vs.土塊 ~金銀など貴金属による普遍的な価値と、それでは測れない芸術的価値を比べて見る</b>									
39	テケ族 トルクメン人		護符入れ(トウマル)	1916/17	幅39.5		銀、鍍金、カーネリアン	1点	
40	テケ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	20世紀初期	高38.5, 幅24.5		銀、鍍金、カーネリアン	1点	
41	船橋舟珉	1859-没年不詳	金地山水蒔絵手箱	1908(明治41)	高14.8	25.8×22.9	木 漆 蒔絵	1合	第8次漆工競技会 前期
42	不詳		近江八景蒔絵御手箱	明治~昭和初期	高13.5	24.0×19.5	木、漆、蒔絵	1合	後期
43	鯉江良二	1938-	平茶盤		高6.0	15.5×16.5	陶器	1口	
44	鯉江良二	1938-	鉄絵茶盤		高9.5	12.0×12.5	陶器	1口	
45	鯉江良二	1938-	貝釉引出し茶盤	平成元(1989)	高8.5	13.0×13.5	陶器	1口	
46	鯉江良二	1938-	韓国手茶盤	平成8(1996)	高9.0	15.9×15.9	陶器	1口	
<b>10 プロローグ-ガラスと木 ~限りなく広がる工芸美</b>									
47	益田芳徳	1934-2010	記憶I	平成2(1990)	高24.0	65.0×43.5	ガラス	1点	
48	山根寛齋	1933-2010	玉椿壺彩箱	平成2(1990)	高18.6	31.0×15.2	玉椿、神代櫻、朴、黄楊木、棗、木画	1合	第37回日本伝統工芸展